

令和 6 年度 予算要求の方針

一般会計要求総額 6,067 百万円 (対前年度 +46.5%)

「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現とともに、市政変革の推進にむけ、ユーザー視点の市役所DXや自発的な地域・企業DXのサポート、ニーズを先取りした市外の企業や人を呼び込むための環境整備など、DX推進による基盤づくりで市政に貢献します。

令和 6 年度 主な予算要求の内容

★：新規事業 ○：拡充事業

■ 市役所DX

○ スマらしく区役所サービスプロジェクト

- 書かない・待たない・行かなくていい区役所の実現のため、新たな窓口整備に向けた設計等やオンライン予約・発券サービスの実装などに取り組みます。



デジタル・デバインド対策

- デジタル機器に不慣れな方もデジタル化の恩恵を享受できるよう、「デジタル活用講座」を開催するとともに、聴覚障害者が円滑にコミュニケーションがとれるようデジタルツールを整備し、区役所窓口の充実を図ります。



★ 事業者向け手続きオンライン化集中取組

- 事業者の来庁手続き時間の削減や市役所職員の業務効率化にむけ、効率的に手続できる電子申請サービスの導入や、手続所管課への伴走型支援など、事業者向け手続きオンライン化に集中的に取り組みます。



○ AI・RPA等による業務改革の推進

- 業務抜本改革にむけ、AI・RPA等のデジタル技術の徹底活用や、全庁展開中のローコードツールによるシステム内製化を推進。生成AI等の先端的技術の調査研究や活用も実施します。



○ オフィス改革プロジェクト

- 業務内容に応じた柔軟な働き方の実現や生産性向上などを目的とした本庁舎のオフィス改革を実施するため、効率的で柔軟な働き方ができるペーパーレスな職場環境の整備にむけた検討を実施します。



★ DX人材育成プロジェクト

- 連携協定企業等の協力も得て研修に取り組み、令和5年度から3年間で2,400人の市職員をDX人材として体系的に育成します。



■ 地域DX

★ 地域DX推進プロジェクト

- デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現にむけて、地域、市民、企業を幅広く巻き込みながら、新たな行政サービスをユーザー視点でデザインしていくための基盤づくりに取り組む。



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度デジタル市役所推進室予算要求方針

1 令和6年度デジタル市役所推進室予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度デジタル市役所推進室予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	6,066,952千円
(令和5年度予算額	4,140,383千円)
前年度比	+46.5%

(2) 令和6年度デジタル市役所推進室予算要求の方針

「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現とともに、市政変革の推進にむけ、ユーザー視点の市役所DXや自発的な地域・企業DXのサポート、ニーズを先取りした市外の企業や人を呼び込むための環境整備など、DX推進による基盤づくりで市政に貢献する。

2 重点的に取り組みたい主なもの

(1) 「稼げるまち」の実現

(2) 「彩りあるまち」の実現

(3) 「安らぐまち」の実現

■市役所DXの推進

① 市民サービスの向上

- ・ **拡充**スマらく区役所サービスプロジェクト 709,910千円
(うち拡充分 554,727千円)

- ・ 窓口DX推進事業
- ・ 行政サービスのデジタル化促進事業
- ・ 予約発券サービス整備運用事業 等

書かない・待たない・行かなくていい区役所の実現のため、新たな窓口整備に向けた設計等やオンライン予約・発券サービスの実装などに取り組む。

・デジタル・デバイド対策

8,041 千円

※スマラク事業費の一部再掲

デジタル機器に不慣れな方もデジタル化の恩恵を享受できるよう、「デジタル活用講座」を開催するとともに、聴覚障害者が円滑にコミュニケーションがとれるようデジタルツールを整備し、区役所窓口の充実を図る。

・**新規**事業者向け手続きオンライン化集中取組

5,830 千円

事業者の来庁手続き時間の削減や市役所職員の業務効率化にむけ、効率的に手続きできる電子申請サービスの導入や、手続き所管課への伴走型支援など、事業者向け手続きオンライン化に集中的に取り組む。

② 業務効率化

・**拡充** AI・RPA 等による業務改革の推進

240,889 千円

(うち拡充分 121,649 千円)

業務抜本改革にむけ、AI・RPA 等のデジタル技術の徹底活用や、全庁展開中のローコードツールによるシステム内製化を推進。生成 AI 等の先端的技術の調査研究や活用も実施する。

・**拡充** 庁内データ利活用推進事業

9,009 千円

(うち拡充分 3,009 千円)

効果的・効率的な施策の推進にむけて、庁内データ活用による解決モデルの形成と、データ分析基盤の構築や職員のデータ分析スキル向上への取組。

③ 市職員の働き方改革

・**拡充** オフィス改革プロジェクト

217,127 千円

(うち拡充分 187,127 千円)

業務内容に応じた柔軟な働き方の実現や生産性向上などを目的とした本庁舎のオフィス改革を実施するため、効率的で柔軟な働き方ができるペーパーレスな職場環境の整備にむけた検討を実施する。

④ DXを支える取組

- ・ **新規** DX人材育成プロジェクト 27,378千円

連携協定企業等の協力も得て研修に取り組み、令和5年度から3年間で2,400人の市職員をDX人材として体系的に育成する。

- ・ **拡充** BPR（事務集中処理）プロジェクト 414,290千円
（うち拡充分 394,290千円）

※スマラク事業費の一部再掲

市民の利便性向上と職員の負担軽減にむけて、オンライン申請に伴うデータの受付、内容確認、入力など、各職場の内部事務（バックヤード）を集約処理する仕組みを構築することにより、手続きのオンライン化の推進や相談・支援等の職員でしかできない業務に注力できる職場環境の整備を図る。

- ・ **拡充** 情報システム統一・標準化プロジェクト 805,750千円
（うち拡充分 683,650千円）

国の法令に基づき、標準化対象システムの標準準拠システムへの安全な移行と、庁内システムとガバメントクラウドとの円滑なデータ連携を実現するため、クラウド共通基盤の構築・運用を行う。

■ 地域DXの推進

- ・ **新規** 地域DX推進プロジェクト 32,038千円

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現にむけて、地域、市民、企業を幅広く巻き込みながら、新たな行政サービスをユーザー視点でデザインしていくための基盤づくりに取り組む。

- ・ **新規** 事業者向け手続きオンライン化集中取組 5,830千円

※再掲

事業者の来庁手続き時間の削減や市役所職員の業務効率化にむけ、効率的に手続きできる電子申請サービスの導入や、手続き所管課への伴走型支援など、事業者向け手続きオンライン化に集中的に取り組む。